

いのちの言の葉2014

富山県教育委員会平成26年度いのちの教育総合支援事業

「わたしのたん生」

入善町立上青小学校 2 学年
平成 27 年 2 月 5 日実施

水井先生は、上市町立白萩西部小学校(平成26年6月10日)、富山市立神保小学校(平成26年11月11日)においても、いのちの授業をされました。

【いのちの先生】

水井 雅子先生
・助産師

【授業の概要】

- 1 いのちの始まり
(針の穴を開けた折り紙と大豆使用)
- 2 胎内での成長過程
(実寸大の胎児人形使用)
- 3 出産時の赤ちゃんとお母さんの様子
- 4 いのちの奇跡(骨盤・胎児の模型使用)

(保護者より)

おなかのなかにいるときから、とても元気にうごいていた〇〇ちゃん。手をのぼしたり、足をのぼしたりするたび、とてもしあわせなきもちになりました。2日かかって、手術でうまれて、泣き声をきいたとき、ほんとうにあんしんしました。うれしくてなみだがあふれました。うまれてきてくれてありがとう。〇〇がうまれて、家族がみんなしあわせなきもちになったよ。

(お母さんへ)

お母さんへ、たいへんなのに、わたしをうんでくれてありがとう。
おなかにいるときは、すごく小さかったのに、こんなに大きくなったのは、おかあさんのおかげです。
わたしをそだててくれたおかあさんにかんしゃしています。



(お母さんへ)

おかあさんへ、わたしをうんでくれてありがとう。わたしがおなかのなかで、しんでいたら、おかあさんにはあえませんでした。でもあえたからとてもうれしいです。これからずっとあそんでください。だいすきです。わたしは、きょうのべんきょうから、おかあさんがどれだけでもしてわたしをうんでくれたかがわかりました。ありがとう、おかあさん



(保護者より)

〇〇がおなかにいるとわかったとき、おとうさんとおかあさんがとてもよこびました。
うまれるまで、男の子か女の子かをきかずにたのしみにしていたので、かんごふさんから「げんきな男の子ですよ」ときいたとき、とてもうれしくてなみだがでました。はじめて〇〇をだっこしたときとてもしあわせなきもちになりました。うまれてきてくれてありがとう。